



薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動及び国連支援募金活動の実施について

令和3年6月24日
薬 務 課

1 要 旨

令和3年6月20日（日）～7月19日（月）までの間、「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」に併せて、全国一斉に薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動が展開される。

本県においても広島県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を実施し、薬物乱用防止の思想を普及するとともに、併せて、（公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターが実施する「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金に協力する。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、国内における薬物乱用防止活動として、官民一体となり、国民一人ひとりの薬物乱用問題に関する認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、国内外における薬物乱用防止に資することを目的としている。

2 薬物乱用の現状

覚醒剤、大麻等の薬物乱用は、国内外において深刻な問題となっている。

日本国内では、覚醒剤事犯の検挙者数は若干減少しているものの約8,500人に上り、全薬物事犯の約6割を占めている。一方、大麻事犯は平成26年から増加し続けており、特に20歳代以下の若者の占める割合が約7割を占め、憂慮すべき状況である。

広島県においても同様に、若年層の大麻事犯での摘発が増加しており、若者への教育・啓発が喫緊の課題となっている。

3 実施概要

(1) 実施主体

広島県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会
（広島県及び広島県薬物乱用防止指導員協議会（会員数377名）により構成）

(2) 実施期間

令和3年6月20日（日）～7月19日（月）

(3) 場所

広島県内全域

(4) 実施内容

薬物乱用防止の啓発用資料「パンフレット」、「チラシ」、「絆創膏」等を配布するとともに「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金活動（※）を実施する。

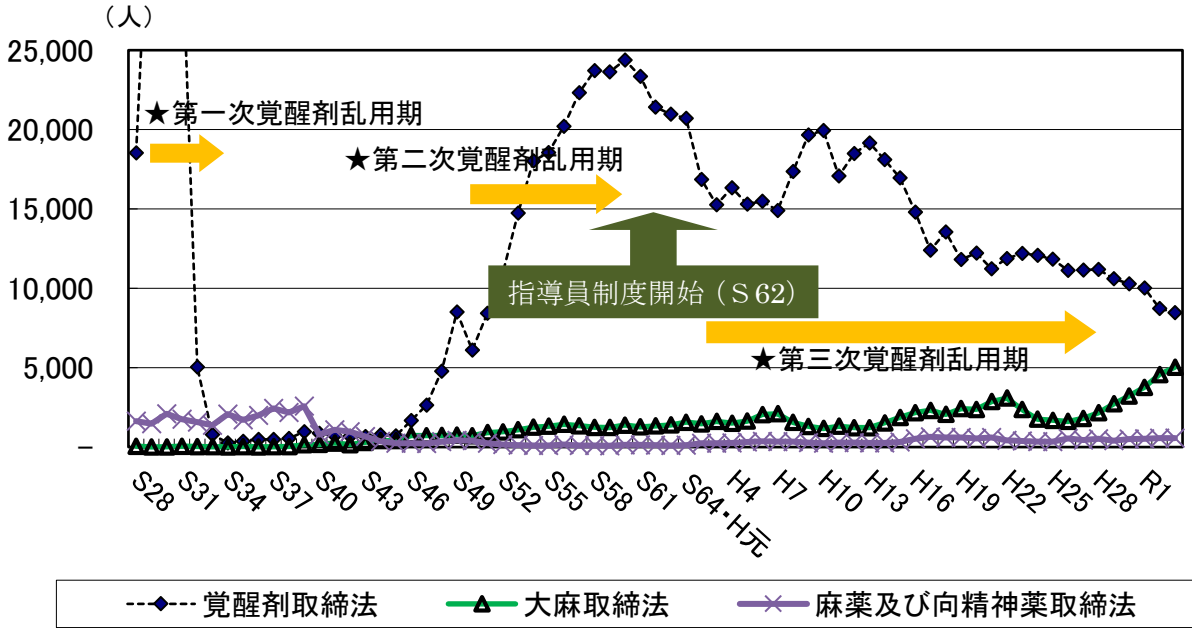
※国連支援募金：開発途上国等で薬物乱用防止活動に従事している民間団体（NGO）の活動（薬物乱用防止教育、代替作物プロジェクト、指導者の養成等）の支援に使用される。
（令和2年度の全国の募金実績：1,161,247円）

4 その他

例年6月26日前後の土日を中心に実施している、中学生・高校生等のヤングボランティア、広島県薬物乱用防止指導員、ライオンズクラブ会員、PTA、中国四国厚生局麻薬取締部、広島県警察本部、保健所等行政関係者等による「626ヤング街頭キャンペーン」については、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、昨年度に引き続き実施しないこととする。

【参考資料】

1 薬物乱用による検挙者数の年次別推移（全国）



2 大麻事犯の検挙状況

区分		H28	H29	H30	H31・R1	R2
広島	件数	67	60	61	51	83
	人数	47(0)	55(6)	43(10)	35(5)	57(2)
全国	件数	3,600	4,192	4,687	5,652	6,015
	人数	2,722	3,218	3,762	4,570	5,034

(注1) ()内は、未成年の人数

(注2) R2 全国は、警察庁分のみ。

(注3) R2 広島は、広島県警察本部暫定値。

3 広島県薬物乱用防止指導員（県内9地区：377人）

広島県薬物乱用防止指導員設置要綱に基づき、薬物乱用防止活動に熱意と理解のある方を、広島県薬物乱用対策推進本部長が委嘱する。

